

市庁舎の建替えと新たな議場の検討



府中市は市役所の建て替え計画を実施しています。上記の通り、工事は平成30年度から着工し、平成33年度末までに完成する予定です。

市役所の建て替えに伴い、市議会では平成27年9月から平成28年3月まで7回にわたり、

市議会本会議場を含む議会棟のあり方と設計に関する検討を重ねてまいりました。検討項目は①議場②委員会室③応接室・打ち合わせ室・議員控室

④正副議長室⑤その他の機能の5分野です。詳しくは稲津けんごHPをご覧ください。

第2回定例会は6月3日(金)から

今回の市議会は臨時会で5月12日(木)午前10時より開催される予定です。臨時会では主に議会人事案件について審議される予定です。

そして第2回定例会は6月3日(金)から開催し、一般質問は6月6日(月)と7日(火)を予定しています。是非とも、議場にお越しいただき、市議会を身近に感じていただければ幸いです。

傍聴の際、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する2日前までにお申し込みを。車いす用の席もございます。

【府中市議会インターネット中継】

<http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp>

【第2回定例会】

- 6月3日(金) 本会議(委員会付託)
- 6日(月) 本会議(一般質問)
- 7日(火) 本会議(一般質問)
- 13日(月) 建設環境委員会
- 14日(火) 基地等跡地対策特別委員会
- 20日(月) 本会議(委員会審査報告等)

※ 上記は4月1日現在の予定です。実際の日程が変動する場合もございます。

【府中市議会の問合せ先】

☎042-335-4057(議事係)



稲津けんご

【プロフィール】
1968年北山町生まれ。
(現在は西原町在住)

- 府中七小、和光中、都立狛江高校卒業
- 1992 米国南アラバマ大学学士号取得
- 1992 民間企業に就職
- 1998 米国ピッツバーグ大学院修士号取得
- 1999 府中市議会議員初当選(3期12年)
- 2012 一橋大学大学院 研究補助員
- 2013 NPO法人にて被災地支援活動
- 2015 府中市議会議員 再当選

【編集後記】

今定例会は、平成28年度の予算を審議する大変重要な議会でした。府中リベラルは30名の議員の中でも、一人会派ではありますが、議会の中で物事を決める一員として皆さんの期待に応えるよう、積極的に発言してまいりました。

議員は地域や市民団体等との関わりや相談窓口等の活動が重要だと思います。地に足をつけた活動を通じて課題を見出し、より良い社会へつなげるよう、これからも行動して参ります。

府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

編集・発行: 府中市議会 府中リベラル

稲津 けんご

〒183-8703 東京都府中市宮西町 2-2-4

Mail: inazu.kengo@gmail.com



～誰も見捨てない地域社会に～

平成28年 2月22日～3月17日開催

第1回定例会 徹底総括!!

2016年4月号

誰も見捨てない地域社会を創ろう!

平成28年になって初めての市議会第1回定例会が2月22日(月)から3月17日(木)までの25日間に渡って開催されました。

稲津けんご氏は「誰も見捨てない地域社会」を目指して、一般質問や委員会、予算審議、議案審議等、様々な機会でご発言してきました。

また、議会活動の一つとして行なっている「議会棟検討委員会」も開催されました。これは市役所の建替により、市議会の議場や事務局も変わるため、議会として検討してきました。今後のスケジュールに関しては最終面の図をご覧ください。

【平成28年 第1回定例会 主な動向】

2月

22日(月) 本会議(委員会付託等)

23日(火)・24日(水) 本会議(一般質問)

・稲津氏は23日に登壇

3月

1日(火) 建設環境委員会

2日(水) 基地等跡地対策特別委員会

17日(木) 本会議(委員会審査報告等)

※ 稲津氏が所属していない委員会には全てオブザーバー(傍聴人)として参加。

議会基本条例検討の陳情、採択ならず

3月3日(木)の総務委員会では、みんなで見守る府中の会から提出された「議会基本条例についての陳情」の審議が行われました。

委員会審議では、共産党、生活者ネットが採択を主張しましたが、自民、公明、社民が継続を求めたため、委員会は継続案件となりました。

3月8日に行われた本会議では、稲津氏が発言し、「市民からこのような陳情を受けて市議会として市民に対する説明責任を明確化することはもちろん、本市の最高意思決定機関として市議会の位置づけを条例化することは必然であり、本陳情を

採択ではなく継続にすること自体、市民感覚からは理解できない」として本陳情について採択をすべきと主張しました。

採決の結果、継続が多数となり、採択に至りませんでした。引き続き取り組んで参ります。



府中市予算審議報告 誰も見捨てない地域社会を軸に審議

平成 28 年度一般会計予算の審議にあたり、稲津氏は「府中リベラルとして、市税の使い道を社会的ニーズが必要な市民へ届け、誰も見捨てない社会の実現を念頭に質疑に挑む」と語りました。当初予算として市の一般会計は初の 1000 億円を超える規模となりました。

自殺対策



「命」にかかわるテーマの一つである「自殺対策」について稲津氏は「府中市では自殺によって 40~50 人の死亡事件が毎年発生している。原因は様々あると思うが、市としての自殺対策は検討しているか?」と質問しました。

市は「26 年に自殺に関する調査を行った。現在その分析と対策を検討し、ゲートキーパーの養成と今後の対応マニュアル計画を作成する予定」との前向きな答弁がありました。

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)をすることができる人のこと。

医療・介護連携

これまでも稲津氏は強く主張してきた、在宅医療と在宅介護の連携強化について質疑を行いました。

市は「市内にある包括支援センターを中心に相談窓口を 11 か所設置し、医療と介護の当事者や従事者、関係者に研修や講演会を行う予定」との答弁がありました。

稲津氏は「医療と介護の両方を必要とする市民への対応が急務と考える。両分野の連携強化に向けた体制を早期に実現すべき」と要望しました。

「最後まで家で暮らしたい」
その想いを、多職種が連携しながら支えます。



市民協働の今後



市民協働推進事業について稲津氏は、「まちづくりカフェや地域課題ワークショップの開催を予定しているようだが、この事業の対象者はだれか?これらの事業による話し合いの結果をどのように実現していくのか?」と質問しました。

市の答弁は「対象は全市民としており、特にこれまで地域活動やまちづくりに参加していない市民を掘り起こしたいと考えている。市民参加の機会を増やし、話し合いの結果は各課の施策に活かしていく」と述べました。

稲津氏は「そうした話し合いの成果をしっかりと反映できるよう、最終的には総合計画に盛り込む等、単なる形だけの事業とならないよう、積極的に取り組んでいただきたい」と要望しました。

一般質問 分倍河原駅の改良に向けて

稲津氏が毎週月曜日に市政報告をしている分倍河原駅は、JR 南武線と京王線の乗換駅として、市内で最も多い乗降客数となっている駅です。

稲津氏は「市長 2 期目の公約として分倍河原駅の改良と周辺整備を掲げていたが、現在の課題や今後の意気込みを伺いたい」と質問しました。

高野市長は「鉄道事業者等と調整を図りながら、来年度には駅改良計画の具体的な検討に着手する。安全性や利便性の高いまちづくりを実現するため、強力に進めていく」と力強く述べました。



一般質問 西原町の都道計画の今後



西原町を中心に大きく地域住民に影響する東八道路について、稲津氏は計画状況と今後の見通しを尋ねました。「現在の進捗状況は用地買収率約 90%。完成予定は平成 30 年度末となってい

る」と市の答弁。稲津氏は「どこに横断歩道ができるのか、七小に通う児童の安全性など住民の要望が高まっている。市として都に住民要望を実現していく取り組みはあるか」との質問に対し、「都への陳情の機会をとらえ、市の要望を伝えていく」と行政の答弁があり、安心して暮らせるまちづくりに取り組む姿勢を示しました。

一般質問 ごみ屋敷対策の条例化を求める

稲津氏は、市民からの相談から集合住宅での「ごみ屋敷」と呼ばれる問題を取り上げました。

「ごみ屋敷の問題は、地域住民にとって大きな問題である。市の指導、空き家対策と並行して条例化の検討はあるか」と稲津氏が問いました。

「本市では、現地の状況を確認し、家主等に対応をお願いしている。指導マニュアルはないが、今後研究していく」と担当部長の答弁。

稲津氏は「この課題は条例化し、迅速な対応を図るべき」と強く求めました。

